

赤星病(Rust)

Gymnosporangium asiaticum



ナシの葉に発生した赤星病



ナシの幼果に発生した赤星病(初期)

発生生態

ナシやリンゴに発生します。

4月中下旬の雨が降ったときに感染し、5月ごろ、葉・果実にオレンジ色の小斑点ができます。

斑点は1cm程度まで大きくなり、その後灰色の毛のようなものが発生します。

防除対策

病原菌は、冬の間ビヤクシン類で過ごすため、近くのビヤクシン類を伐採することで、被害が少なくなります。

年1回のみ発生することから、感染時期から病斑が出始める時期の間に殺菌剤(EBI剤)を散布することでも被害を少なくできます。